

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 3年 1月 23 日

保護者数 22件 回収数 18件 9・10～9・30実施 割合82%

事業所名: 放課後デイサービス ふくまる

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 利用定員 10名 | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 活動内容に応じたスペース作りに心がけます。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 管理者兼保育士1名・児童発達支援管理責任者1名・常勤保育士2名・ | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 基準に基づいて実施しています。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 子どもの特性に応じた絵で場所の表示をする。 2階への階段の高さがあるので通行時は手をつないで付き添う。 | はい⇒10名 どちらともいえない⇒7名 いいえ⇒1名 わからない⇒0名 | 開設場所は2階であるためエレベーター等なし 低学年が多い為階段の使用時は職員・保護者が付き添うことを今後も継続していきます。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | サービス提供後の清掃の実施 季節感ある環境構成を実施しています。コロナ感染対策として内容を協議し実施しています。 | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | コロナ等の感染対策も引き続き実施させていただきます。季節の変わり時には大掛かりな掃除の実施の継続も行っていきます。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 季節ごとの振り返りと先の計画案の作成 | | 会社が経営指針を押し、目標の設定等を職員主体に周知し、チームとして動くことが出来るよう工夫をしている。ホームページで自己評価結果を公表している。Facebookで情報発信を今後も実施していきます。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 保護者アンケート調査の実施により今後に反映していますが、外部評価は未実施です。 | | より良い施設になるよう努めさせていただきます。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 自発的な申し出により研修参加・各業種による地域連絡会等の参加をしています。 | | 研修に参加し、研修報告書及び研修報告会をして内部職員の資質の向上を今後も行っていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 契約時にアセスメント 3～6か月後にモニタリングを行なう。 | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 本人・保護者様のご意向を聴取して作成に努めさせていただきます。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 子どもや保護者の要望に応じた作成を心掛けている | | 本人・保護者様のご意向を聴取して作成に努めさせていただきます。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 個々の特性に応じた計画に基づき実施し、取り組み方・状況や変化がわかりやすいよう取り組んでいます。 | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 今後も実施させていただきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|------------------|--------|--|--|--|---|
| 適切な支援の提供 (続き) | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 計画内容に基づいた支援を行う。また、変化や気づきがあった際は、相談支援専門員と連携している。 | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 今後も実施させていただきます。 |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | スタッフミーティング時に、活動プログラム案を出し合い実践しながらPDCAをまわしている | | 長期休業前は特に細かくチームで何度も話し合いを重ねプログラムの決定をしている |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 特に長期休暇時 制作・活用の遊びや長期にしかできない支援プログラムの実施 | | |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 利用日限定のプログラムのほか 地域への外出・地域でのイベント見学等の実施 | はい⇒14名 どちらともいえない⇒3名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 長期休業中は特に多彩な活動プログラムを今後も実施できるよう努めさせていただきます。 |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 長期の支援は事前に会議にて協議 短時間であるがミーティングにて確認後支援開始している | | 引き続き 取り組んでいきます。 |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 送迎後 残った職員間での話し合い また翌日振り返り申し送りにて 共有化を図っている | | 引き続き 取り組んでいきます。 |
| | 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 療育日誌・お便りノート等 改善し使いよいものに変更する予定 | | |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 日々の記録をもとに 児童発達管理責任者がモニタリング及び計画の見直しを行っている | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|--------|--|---|--|---|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | 児童発達支援管理責任者が出席 | | |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有 | 契約時 保護者持参のサポートファイルや口頭で聞きとり、また学校への迎え時、教諭からも情報収集している | | 各学校により情報共有のしかたが様々であるが、何かトラブルが発生した時には連絡が取れるよう準備をしている |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 該当の児童はなし | | 学校卒業時には、障害福祉サービス事業所へ支援内容等の情報を提出する。 |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 障害に関する研修等 情報を提供するとともに参加している。また、学んできた内容は職員間で共有している | | 研修の情報を得て出来るだけ全員で参加し、話を聞いたり、質問をし 質の向上に努めている |
| | 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 放課後児童クラブとの併用・個人的な子どもサークル・習い事に行かれている児童もあり触れ合っている状況を保護者から伺っている。 | はい⇒5名 どちらともいえない⇒9名 いいえ⇒3名 わからない⇒1名 | コロナ感染症が終息したら 公園などでの交流も出来たらと計画をさせていただきます。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | プライバシー保護の観点から 今のところ実施していない | | |
| | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 契約時や必要に応じて行なっている | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | わかりやすい丁寧な説明を継続させていただきます。 |

保護者への説明責・連携支援

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----|--|--|--|---|
| 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 計画の説明は児童発達管理責任者が保護者に時間をもらって行っている | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | わかりやすい丁寧な説明を継続させていただきます。 |
| 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 必要時応じて 口頭・書面での対応をさせて頂いています。 | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 日常生活の中で相談・面談を受けたり、連絡帳などを通じて助言等が出来るようにしている。 |
| 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 連絡帳の家族欄の記入により共通理解をしている | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 引き続き実施させていただきます。 |
| 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 送迎時や電話連絡等での対応 相談員・保護者からの会議の参加要望があれば参加させて頂いています。 | はい⇒15名 どちらともいえない⇒3名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 要望があれば、いつでも対応させていただきます。 |
| 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 保護者会は未開催。すでにママ友ライン等でつながっている保護者もいる。 | はい⇒5名 どちらともいえない⇒7名 いいえ⇒6名 (必要性を感じない) わからない⇒0名 | 共働きが多い為日時の調整がむずかしい。要望等があれば、検討させていただきます。 |
| 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 苦情があれば、職員間で共有し 対処法を検討。また、苦情対象者への今後の対応などを伝え再発防止に努める | はい⇒16名 どちらともいえない⇒2名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 休日いつでも連絡の取れる体制を今後も実施させていただきます。 |
| 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | カードプログラム使用や伝達訓練から実施しています。文章力を養うために伝達にもステージアップを考えています。 | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 伝える・伝わる文章訓練としてポストを作成設置していきます。 |
| 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 口頭・連絡ノート・SNS・メールなどを中心に連絡を行っています。 コロナ対応時・長期休暇前にはお知らせ等の書面を配布させて頂いています。 | はい⇒7名 どちらともいえない⇒11名 (保護者だけ見れるものがあればいいな) いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 子ども達の活動をフェイスブックに掲載している事の情報発信と 個人的な写真の提供で家族間の会話が弾むような取り組みも考えていきます。 |
| 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | スタッフ契約時には、個人情報保護の契約、保護者との契約時には 個人情報の取り扱いの契約を交わしており、個人情報の保護には充分配慮している | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | フェイスブックなど掲載時には複数の目線での確認など 取り扱い管理を徹底させていただきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|---|--|--|--|
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 各マニュアルは作成している。市の防災課には 防災時のマニュアルを提出しています。 | はい⇒16名 どちらともいえない⇒2名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | 職員間での共有は出来ている。コロナ感染症での対応などは その都度職員間での話し合いを持っていきます。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 外部の防災訓練の日に 復習としての話などをする。デイ内では「先生の話聞く」「列に並ぶ」を的確に出来るようにした。 | はい⇒5名 どちらともいえない⇒8名 いいえ⇒1名 わからない⇒0名 | 低学年児童を主とし 地域を知る・職員の指示が守れるなどを 重点に今後も行っていきます。 |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | 小さなけが・アザでも見落としの無いように心がけている。また、虐待防止にかかる社内研修を実施 | | 適切な対応に努めさせていただきます。 |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 該当する児童なし | | 契約時に 説明させていただいています。 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 契約時に細やかな話し合いを実施している。症状が現れたときは 家族に報告し急を要する時 かかりつけ医等に指示を仰ぐ | | 保護者よりの聞き取りを行い対象児童が利用する場合は指示書を頂くようにしていきます。 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ヒヤリハット事例集を作成している。ヒヤリハット事例でなくとも 常に周知・改善を要する事例は職員間で共有している。 | | 今後も、共有の周知徹底をしていきます。 |
| 満足度 | 1 子どもは通所を楽しみにしているか | | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | ご期待に添えるよう運営させていただきます。 |
| | 2 事業所の支援に満足しているか | | はい⇒18名 どちらともいえない⇒0名 いいえ⇒0名 わからない⇒0名 | ご期待に添えるよう運営させていただきます。 |